

すとおりいは、自主製品の製造・販売やリサイクルセンターを運営する就労継続支援B型と、依存症からの回復プログラムなどを学ぶ生活訓練からなる、多機能型の依存症回復施設です。アルコールや薬物、ギャンブルなどをやめる意志がある仲間の居場所となっています。

今号では「宿泊研修」を中心にご報告させていただきます。

## 1【宿泊研修・群馬県川場村あるきんぐらぶ】

### Nさん

私は今回すとおりいの宿泊研修に初めて参加する事になり、1泊2日という研修の日程でした。

最初は、あまり参加する気分にはなれませんでした。少しは休みたい。毎日作業所に通しているから。参加して何か意味あるの？などなど、色々と考えていました。

その前に、今年の5月か6月頃だと思いますが、宿泊研修委員としてやることになり、「しまった！」という気持ちになり、不安もあり「嫌だなあ」と思いながら過ごしていました。

でも、仕方なく委員会の書記をやりながら、宿泊研修の当日を迎えることになります。

行く場所は群馬県川場村のあるきんぐらぶさんで、その場所は本当に何も無く、ただりんご畑がたくさんあって、空気も澄んでいて、いざ参加したら心も体もリラックスできて、とても私にとっては一生の宝だと思いました。

また、メンバーとスタッフ共々、少しだけですが打ち解けたような気がします。それと天候は良くなかったけど、キャンプファイヤーミーティングができたのが良かったです。みんなも童心に帰れたような気がします。ただ残念なのが、参加できなかったメンバーさん。次はみんなと参加したいですね。

私もこの2日間は、とても良い2日間を過ごせたと思っています。あとむかごも取れて、食事もおいしく食べられました。良い思い出の1泊2日でした。宿泊研修委員も努められて良かったです。本当にありがとうございました。



## Kさん

今回の宿泊研修は実行委員長をやらせて頂きました。最初のあいさつや食事の時のあいさつなど、普段しないことをやらせて頂き感謝しております。

それから、旅行を経験させて頂いたスタッフの皆様、あるきんぐらぶの皆様には感謝したいと思います。

旅行の内容としては、まずテレビが無い事、普段の生活でテレビが無い事は無く、自然な時の流れを感じました。あと時計もなく、穏やかな時を感じることができました。

そしてやはり、メインがBBQでした。カレーに飯盆で炊いたご飯や、現地でとれた栗等を食べさせて頂きました。それから忘れてはいけないのが、あるきんぐらぶの方が鉄砲で仕留めた鹿肉を食べられて、感動したことです。味はさっぱりして美味しかったです。

ワイルドな経験が出来てすごく満足しております。機会があればまた行きたいです。ありがとうございました。



## Iさん

宿泊研修での思い出

- ① バスに乗る瞬間がわくわくして楽しみでした。
- ② だんご汁も大変おいしく食べられました。
- ③ 火おこしが思ったよりも早く火がつけました。
- ④ バーベキュー、カレーライスが最高に美味しく出来上がり、鹿肉やまいたけもとても美味しかったです。
- ⑤ 竹細工で箸を作りました。良い経験になったと思います。
- ⑥ 動物ふれあい体験では、カモ、羊にふれあうことができ、かわいかったです。
- ⑦ 宿泊研修の帰りに雨に降られて、少し憂鬱になりました。
- ⑧ 宿泊研修委員を何とかやり遂げることができ、良かったと思いました。

## スタッフOさん

縄文人のように舞錘り式の火熾しに挑戦したものの、あと一步で紐が切れて残念そうな顔。いつもは遠慮深いのに、放牧された羊の柵を超え、餌付けに向かう果敢な後ろ姿。

日々の就労訓練とは異なる群馬の山での宿泊研修で、童心に帰った皆の目は、へっつい釜で飯を炊きながら、入浴待ちでトランプをしながら、生き生きと輝いていました。生き生きとしたものを見て嬉しくなっている自分が不思議でした。

かつて守ろうとした大切なものを壊してしまってから数年間、私は感情を亡くしていました。悲しいって何だっけ？嬉しいってなんだっけ？怒りって何だっけ？どんなものだったか思い出せない位、酒と薬に溺れていました。

小さいもの、優しいもの、美しいもの、子どもや、動植物といった自然も好きだった筈なのに、全ての生きるのが怖くて怖くて仕方がなかった。死の感触の方が近しく安らかに感じられ、周りの生き生きしたものが、ただ恐ろしかった。孵化したばかりの春の羽虫の光も、子どもたちの笑い声も、宇宙人のような違和感しかありませんでした。

感情だけでなく良心も倫理観も失って、けだもののように狂った脳髓の命ずるまま飲んでいた酒と薬を手放して10年。すとおりに来て4年半。元々薄かった感情が、印影と輪郭をとまってきたことを感じます。

生き生きとした仲間からエネルギーを分け与えてもらって、嬉しくなっている自分が、段々と人間に近づいていることが不思議です。

## 2【すとおりを卒業して】



### Yさん

私は、今から6年前に都内の精神病院2カ所を、半年間アルコールが原因で入院しました。退院してからは、国の福祉関連の施設を数々まわって、すとおりにには社会復帰への中間施設として4年間利用し、今年の9月で無事に卒業して退所となりました。

すとおりの4年間は、断酒して健康で入院せず、施設の最低限のルールを守れば、自分の好きなようにやらせてもらった印象です。スタッフからあまり怒られた記憶がありません。

今回私は、何年か振りの久し振りの卒業生で、その間何人か寂しく退所していきました。卒業して退所すれば、施設長はじめスタッフ、メンバーが、大喜び大歓迎してくれる事が、今いるメンバーの方々に伝えることができたのではないかと、私自身大変大満足しています。

さて私は社会復帰して1カ月半経ちますが、日々職場の人々とのコミュニケーションを一番に大事にしています。先日会社からの評価もとても好評で、私自身を活かせる場所と感じ、日々過ごしています。私も働けてもあと10年余りですが、アルコールが原因で精神病院に又入院しない事と同じで、毎日積み重ねていきたいと思います。



### 3【アル施連秋のフェスティバル】

11月1日に「アル施連秋のフェスティバル」がサンピアンかわさきにて開催されました。

新型コロナウイルスの影響で、会場に仲間が集って開催されたのは3年ぶりです！

すとおりにからは施設紹介Kさん、体験談Sさん、T先生ご指導のもと、ヨガの発表を行いました。

リアル会場で仲間とともに分かち合う喜びを実感した一日でした。



### 4【メンバー状況(令和4年12月現在)】

- ・生活訓練 5人 ・就労継続支援B型 13人  
＜男女構成＞
  - ・男性 14人 ・女性 4人
- ＜年代＞
  - ・20代3人 ・30代2人 ・40代1人 ・50代6人 ・60代以上6人
- ＜アディクション＞
  - ・アルコール 12人 ・薬物 4人 ・ギャンブル 3人 (重複あり)
- ・就労した者 1人(令和4年10月より)

### 5【編集後記】

今年も残すところ、あとわずかとなりました。今年もまたコロナ禍の影響で、さまざまな活動を制約せざるを得ませんでした。

その中で今日は久しぶりにレクリエーションをしました。地区会館を借りて1時間ほど、卓球と風船バレーを行いました。久しぶりに体を動かし、みんな良い顔で帰ってきました。

今年一番の出来事は、特集にも組みましたが、一泊二日の宿泊研修を実施できたことです。群馬県川場村にある「あるきんぐクラブ」に宿泊して、思いっきり自然を満喫してきました。日頃、見ることのできない利用者の素顔を見ることも出来ました。

来年はどんな一年となるのでしょうか？少しずつできることにトライして、次の一步を踏み出して参りたいと思います。皆様には、今年も大変お世話になりました。来年も、また、ご支援くださいますよう、宜しくお願い致します。

### 6【会員募集のお知らせ】

特定非営利活動法人STORYの趣旨にご賛同、ご支援頂ける会員の方を募集しています。

①正会員：当法人の目的に賛同して入会される方および団体  
入会金 5,000円  
年会費 3,000円

②賛助会員：当法人の事業を賛助するために入会される方および団体  
入会金 3,000円  
年会費 1,000円

郵便振替口座

口座番号 00100-3-591769

口座名義 特定非営利活動法人STORY